



Paradise is here.

PARADISE
BUSSHOZAN

パラダイス仏生山

仏生山の記憶をたどる演劇まちあるき

2015.09.20-23

ペピン結構設計 + 仏生山まちプランニングルーム



写真：坂口祐（物語を揺るごとく）

パラダイス仏生山

Paradise is here— 高松市中心部から「ことでん」で約20分。

仏生山はかつて門前町として栄えた、静かで穏やかなまちです。

ため池にまつわる伝説、張り巡らされた水路、人々を引きつける不思議な引力。

まちを巡り、人や景色に出会いながら、この土地の暮らしと湧き出づる物語を体験する観客参加型の演劇まちあるきです。

会場／香川県高松市仏生山町周域（受付・集合は下部参照）

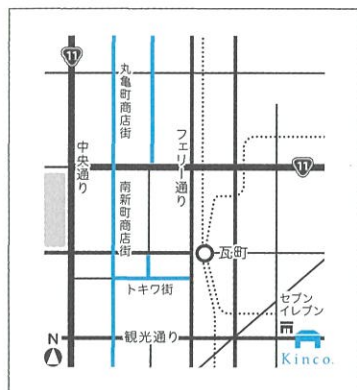
会期／2015年9月20日～23日（全6公演）

9/20（日）	16:00 発	
9/21（月・祝）	11:00 発	16:00 発
9/22（火・祝）	11:00 発	16:00 発
9/23（水・祝）	11:00 発	（上演時間：約2時間を予定）

【ご注意】受付は上記出発時刻の30分前より開始／雨天決行、荒天中止
本作品は、高松市中心部から仏生山エリアに向かい周遊するツアー型の作品です。
料金には受付会場から仏生山までの移動交通費片道分を含みます。

料金／一般前売 2,800円 当日 3,300円（日時指定）

ペピン結構設計予約 <http://pepin.jp/paradise/>
カンフェティチケット <http://www.confetti-web.com/>
TEL.0120-240-540（平日10時～18時）



受付会場／Kinco. hostel+cafe

（高松市花園町1-6-6／アクセス：ことでん瓦町駅徒歩8分）

ペピン結構設計＋仏生山まちプランニンググループ

2013年よりたびたび現地を訪れフィールドワークを重ねてきた演劇団体「ペピン結構設計」と、仏生山のまちづくり活動の一翼を担う自主的組織として、2014年に6名の有志により設立された「仏生山まちプランニンググループ」によるプロジェクトチームです。

ペピン結構設計 | Pepin Structural Designs

1999年結成、ST スポットや BankART など横浜を拠点に活動。北九州の商店街で空きテナントや通りを使った移動型演劇『対岸の火事』（2012年）など、一貫して「場所」から立ち上がる作品づくりにこだわる。04年東京国際芸術祭リージョナルシアターシリーズ、10年こまばアゴラ劇場・舞芸芸術フェスティバル、14年1月～12月ファンタスティック・アーケード・プロジェクト企画制作（北九州）など、演劇からアートプロジェクトまで横断的に手がけている。

主催：ペピン結構設計、仏生山まちプランニンググループ
助成：公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人中條文化振興財団
特別協賛：アサヒビール株式会社
協力：仏生山地区コミュニティ協議会、仏生山地区連合自治会、仏生山商工振興会、高松琴平電気鉄道株式会社
制作協力：シアター・デザイン・カンパニー

お問い合わせ

ペピン結構設計 TEL. 080-4658-9339
E-MAIL. paradise@pepin.jp

<http://pepin.jp/paradise/>

「アサヒ・アート・フェスティバル 2015」参加プログラム
公益財団法人中條文化振興財団助成事業

